

ひたちの文化

- 2 切り絵に親しむ② 竹蓋 年男さん
- 2 日々を詠む⑥ 選・評 山田 祥生さん
- 3 My 仕事 ⑫ 奥日立きららの里 吉田 貴洋さん
- 4 5** 科学館リニューアルオープン特集



- ふるさと探訪パートⅡ ⑦ **6**
- 知られざるディープな日立 ② 7
- 10Qじいじさんのちょっと笑える夜空のお話し ⑥ 8



「春爛漫」

撮影：鈴木 行信さん（鹿島町在住）

撮影場所：かみね公園

日立を代表する観光地であるかみね公園には様々な記念碑が建つ。市民有志が建立した「大煙突記念碑」「新田次郎文学碑」もそのひとつ。昭和の文豪新田次郎氏が執筆した「ある町の高い煙突」にあるように、日立鉾山黎明期、久原房之助翁が煙害に対応するべく、大正4年に竣工した大煙突。155・75メートルは、当時世界一の高さを誇った煙突であり、日立市発展のシンボルであった。平成5年2月に惜しくも倒壊。ニュースを見た時は、名状し難い悲しさを覚えたものだ。倒壊後も下部約三分の一は健在で、現在も運用されており、今尚、日立の街を守っている。記念碑が建つ地には、在りし日の大煙突のレリーフがあり、その姿を偲ばせる。人々を煙害から守るための、壮絶な努力を惜しまなかった先人たちに、思いを馳せたい。

煙害に強いという理由から、主に被害の大きかった地域に植樹された大島桜。その後、当時の日立鉾山所長であった角弥太郎氏の尽力により、ソメイヨシノが市内に広く配布され、桜の町日立の原点となる。「桜」の旧字体「櫻」は首に巻く貝の首飾りのことを指し、「花が木を取り巻くように咲く木」であるとの意。改めて漢字の持つ奥深さに感銘を受けた。

かつては、満開の桜を愛で、数多の観光客が訪れたこの季節。コロナ禍で街は静まりかえり、今尚先行きが見えない。しかし、今年も春はやってきた。制約はあるが、親しい人を誘って満開の桜を眺め、明日への活力にしたいと思う。

切り絵に親しむ

竹蓋 年男

2



たけふた としお

日立市出身。2003年に塾の講師として真壁町へ赴任。茨城県で開かれた国民文化祭をきっかけに作品制作を始める。2014年に地元の旅館で初の個展を開き、その後は切り絵教室や切り絵の会を通して町おこしの活動を続けている。

日常の中の切り絵 (真壁散歩)

切り絵は美術品や工芸品と思われがちですが、日常生活の中にも意外と浸透していて、そんなことを気に留めながら私が17年間活動していた真壁の町中を歩いてみるといろいろなおもしろい作品を見かけることができます。

例えば、

魚屋さんのアルミサッシにお店の方が切ったと思われる力サゴやマグロの切り絵を見つけました。



魚屋さんのアルミサッシ

貼ってある団扇(うちわ)が玄関に飾られていました。女将さんのおもてなしの心が伺える演出です。ふと入った古民家カフエの床の間には、組子細工のコーラボ作品が展示されています。美味しい料理はもちろんのこと、こうした工夫



団扇(向日葵)

何とも味のあるPRの仕方ですね。ある旅館では、季節の絵柄のランプシェードや切り絵が



組子細工の行灯

が人気店のリピート率を高めているのかもしれない。

切り絵はお祭りなどのイベントにも利用されていて、すっかり町に溶け込んでいっているようです。2014年には町の鎮守・五所駒籠神社の創建1000年を記念して執り行われた千年祭の境内に、地元の伝統工芸士によって作られた御影石の石燈籠



石燈籠

(窓に切り絵が挿し込まれている)が置かれ、夜に明かりが灯ると幻想的な様子を見せたそうです。

ここまででは真壁町の話ですが、実は日立市でもコーラボ作品を作ってきた。菓匠ただの社長さんから、「日立市の人口減少に歯止めがかからず、それが悲しい。進学や就職で市外へ出てしまった人たちに、自分の故郷はこんなに素晴らしいところなんだよと知ってもらえるような包装紙を作りたい」とお話しを頂いて制作が始まり、紺色のきれいな包装紙やカステラの掛け紙が完成しました。社長さんはとても気に入ったようで、田尻店の国道から見える壁面に切り絵の作品をプリントしてくれました。



菓匠ただの包装紙

さて、真壁と同じようなことが日立でも出来ないかと現在試案中。微力ですが、私が生まれ育った日立市に少しでも明るさが戻ってくることを願いながら、これからも作品づくりをしていこうと思います。

96 日々を詠む

《選・評 山田 祥生》

春の灯を赤とも黄とも妊りぬ

船渡川 俊

妊娠と知った若夫婦の驚きと喜びが、春の灯を見つめる作者には赤も黄も暖かい色に見えたのである。妻は妊った、男か女か、どちらでもよい。無事に生れて欲しい。作品は昭和四十年代のものであるが、現代でも通じる句である。

(元・日立俳句連盟副理事長)

My 仕事

122

「そうだ、キャンプに行こう」

奥日立きららの里
職員
吉田 貴洋さん
(入四間町)

コロナで外出もままならないとお悩みの方、三密回避の手として「野外でテント泊」なんていかがでしょうか。街中の喧騒から離れてちよつとした非日常を楽しむ、そんなひと時があってもいいと思いませんか？
今回案内して下さった奥日立きららの里職員の吉田さんは穏やかで感じの良い好青年。聞けば日立市の出身で、昨年きららの里にUターン就職されたとのこと。そんな吉田さんにきららの里の見どころをたっぷり語っていただいた。



奥日立きららの里の入口

オートキャンプ場は平成26年に整備されました。区画は上段と下段に分かれて20サイトあり、中央に炊事場やトイレ、シャワー、ゴミ捨て場といった設備があります。園の入口近くにあるケビン・キャンプ場受付で手続きを済ませたら、車でそのままサイトへ直行し横付けすることが出来ます。またテントをはじめ主だった備品は有料で借りることが出来ます。薪や着火剤等も販売していますので、食材さえ持ち込めればバーベ

きららの里は奥日立観光レクリエーション施設として平成6年に開園しました。ケビンやキャンプ場などの宿泊施設や、わくわくスライダー、アスレチック、ふれあい牧場などのアクティビティがあります。僕たち職員も入場ゲートや食堂の仕事に入ることもあります。年間入場者数はおよそ6万人を数えます。



キャンプサイト



全てのサイトに電源を完備



清潔で使いやすい炊事場



トイレ・シャワーも完備

うちが半年前から予約を受け付けているのですが、ゴルフやウィークや夏休みのハイシーズンはすでに予約申し込みを多数いただいています。その他

キユーが出来ます。中には日帰りでも場所だけ借りてバーベキューを楽しむお客様もいらっしゃいます。
キャンプサイトは家族連れで利用されるお客様が多いです。繰り返し利用して下さる方も大勢いらっしゃいますね。人気の理由として全てのサイトに備えられている電源設備があります。というのも、夜間は車のアイドリングを禁止しているため、冬場はホットカーペットなどで暖を取れることがお客様に喜ばれるんです。特に小さいお子さんがいらつしやるご家族にはいいかと思えます。またトイレやシャワーがきれいに保たれているのもリピーターが多い理由の一つです。
宿泊施設としてケビンが15棟あり、こちらも人気があります。—— 周りも山に囲まれ自然が豊かというのも特徴の一つです。桜や紫陽花が心を和ませてくれますし、虫もたくさん捕まえることができます。空気も澄んでおり、また街明かりに邪魔されな



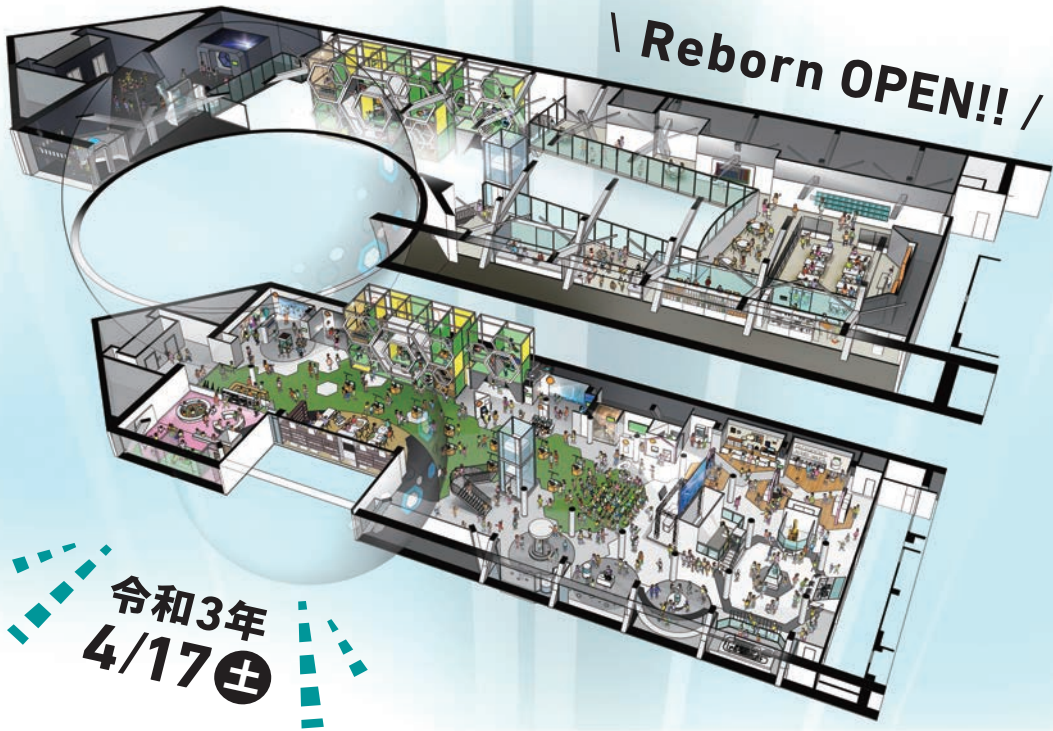
運が良ければ富士山を拝めるかも!?

—— ご来場の際には園内のアクティビティもぜひご利用いただければと思います。全長1,188mのスライダーは日本一の長さを誇り、眺めの良さもあって迫力満点です。混雑するシーズンには1〜2時間待ちになるくらい人気があります。ふれあい牧場ではポニーに餌やりができますし、やまびこ広場のアスレチック遊具で思いっきり体を動かすこともできます。また季節に応じて木工教室やホタルの鑑賞会、ハンドランチグライダー教室、燻製作り、ウォークラリー、富士山の鑑賞会、ラニンングフェスタなど多彩なイベントを行っております。そちらも一緒にご参加いただくことをお勧めします。
—— 新型コロナウイルスがいまだ収束する気配を見せない中であって、通気性の面で優れたキャンプの良さが再注目されてきています。現在、入場時の検温や手指消毒に加え、サイトは間を空けて貸し出すといった対策をとり、お客様にご協力いただいています。料金も割とお手頃だと思えますし、設備もきれいに手入れしています。また上述の通り園内にはご家族で楽しめるアクティビティが充実していますので、感染予防対策を取った上で皆様のお越しをお待ちしています。(編集部注…記事内容は3月中旬時点の情報に基づいたものですが、今後の状況によっては開園状況等に変更が生じる恐れがあります。最新の情報については施設に直接お問い合わせください。)



スライダーで滑走!





日立シビックセンター科学館 **サクリエ**

リポーン
生まれ変わって
オープン!!

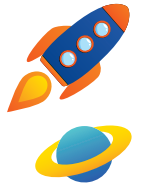
令和3年
4/17(土)

平成2年12月に開館し、多くの市民に親しまれてきた日立シビックセンター科学館が、約1年間の休館を経て、8〜9階の展示フロアを一新しました。新しい愛称が「サクリエ」と決まり、より科学が身近に感じられ、子どもから大人まで楽しみながら学べる、新しいカタチの交流の場として生まれ変わります。令和3年4月17日(土)リポーンオープン。

※サクリエ・愛称募集を行い、応募総数469件の中から新たに愛称「サクリエ」が決定しました。サイエンス(科学)、クリエイション(創造)、アトリエ(工房)などに加え、市の花であるサクラを想起させる造語です。「花が咲く」とも聞こえる響きは、話に花が咲き、盛り上がり、人々が集う賑やかな場所への想いが込められています。

展 示物が全面リニューアル! / Renewal /

見るだけではなく、体験型の展示物が中心です。新しい展示は、日常と科学をつなぐ「はっけんフィールド」を中心に、大型シンボル展示の「ためしてハニカム」、体験装置で科学原理を学ぶ「たんきゅうガレージ」、そして、工作など様々な体験プログラムを展開する「ひらめきアトリエ」などで構成されています。



「サイエンススタジオ」を中心とした

『はっけんフィールド』

8階の中心に位置する「サイエンススタジオ」では、高さを活かしたダイナミックな実験ショーが楽しめます。ミニ実験体験ワゴンの「はてなコンテナ」では、楽しい実験が気軽に体験できます。





日本最大級の 科学体験ジャングルジム

『ためしてハニカム』

子どもたちの冒険心と好奇心を刺激する大型展示「ためしてハニカム」の内部には、試行錯誤しながらじっくりと科学を学べる体験装置が並びます。また、「ためしてハニカム」は中の通路で8階と9階をジャングルジムのように結んでいます。



『私』から『宇宙』まで、 スケールの異なる展示構成

『たんきゅうガレージ』

「日常から科学を探る」をテーマに、「わたし」「いえ」「まち」「ちきゅう」、そして壮大な「うちゅう」まで、スケールの異なる5つのエリアで楽しみながら科学の原理を学ぶことができます。



※「うちゅう」は、9階天球劇場入口に設置しました。



さまざまな工作や 実験などを行う

『ひらめきアトリエ』

工作や実験などのワークショップをじっくりと行う「ひらめきアトリエ」の他、9階には「元素周期表」や本物の「ノーベル賞受賞者からの手紙」、休憩コーナー等を整備しました。



皆様のご来館を
お待ちしております！

その他にも新しい
コーナーが
続々登場！

- ★美しく楽しい光あそびができる「**ひかりキャンバス**」
- ★未就学児と保護者の方がのびのびと遊べる「**キッズガーデン**」
- ★簡単工作や科学に関する図書を読むことができる「**サイエンススクエア**」

施設概要

日立シビックセンター科学館「サクリエ」

日立市幸町1-21-1 TEL:0294-24-7731

開館時間:午前9:00~午後5:00(最終入館午後4:30)

休館日:毎月最終月曜日、年末年始ほか

ホームページ: <http://www.civic.jp>

※コロナウイルス感染症拡大防止のため、当面の間、**事前予約による入館制限**を行います。詳しくはホームページをご覧ください。

入館料

区分	大人	小・中学生、高校生、高齢者(65才以上)
科学館・天球劇場 セット券	750円(650円)	300円(200円)
科学館	500円(450円)	200円(150円)
天球劇場	500円(450円)	200円(150円)

※()は30人以上の団体

※障がい者(付添者1名)、幼児は無料



ふるさと探訪パートII- ⑦⑦

江戸時代の信仰を 今に伝える金山百観音

六渡 優里 (日立市郷土博物館学芸員)



助川山市民の森の公園範囲内、ネイチャートレール(自然遊歩道)から少し離れた、高鈴山方面へ向かう道中の金山(かなやま)と呼ばれるところに、石仏が立ち並んでいる場所があるのをご存知でしょうか?
おむすび池から高鈴山へ向かう山道を30分ほど歩くと、進行方向の左側に「助川城跡へ約5.5km、高鈴山頂へ約3.3km」

という道案内の標識があり、その先を少し入ったところに「金山百観音」とよばれる石仏群があります。雑木林に囲まれた平

坦地の中央には3つの小さな祠があり、その祠を囲むように観音像が60数基立ち並んでいます。

このように、金山百観音の石仏を奉納した多くは日立市域の人々ですが、常陸太田市や那珂市(旧瓜連町域)の人々もあり、静岡県や福島県の地名が彫られたものもあります。しかし、誰が願主かなどの詳細は不明です。

元は別々の場所に造立されたことの裏付けとなっています。増訂版「日立市の文化財」平成11年、日立市教育委員会。

この金山百観音とはどのようなものなのでしょうか? 『図説日立市史』には次のような記述があります。

この石仏は安永3年(1774)、4年に建てられたもので、西国33か所、秩父34か所、坂東33か所の本尊を模して彫られた観音像である(坂東33か所を模したうち現存は2体)。これらの石仏を造立したのは近郷近在の人びとで、石に刻まれた村名には、田尻村、会瀬村、諏訪村、油繩子村、下孫村、川原子(河原子)村、水木村、久慈村、入四間村(以上日立市)、西河内下村、町屋村、内田村(以上常陸太田市)、瓜連村(瓜連町)などがみえる。

『図説日立市史』
平成元年、日立市



ひっそりと佇む観音像群



助川山から高鈴山頂に至る登山道

なお、西国33か所は和歌山、京都、奈良、滋賀方面の札所、秩父34か所は埼玉方面の札所、坂東33か所は神奈川、群馬、栃木方面の札所です。これらの札所を「百観音」というため、金山百観音と呼ばれています。

現在、金山百観音は前述の場所に集められています

が、元はそれぞれ別の場所にあつたとされます。坂東33か所を模した像のうち、現存する2体の観音像が御岩山中にあり、天保12年(1841)の「御岩山大権現霊場図」にも坂東33か所の観音像が描かれていることから、金山百観音における坂東の33体は御岩山に造立されたのではと考えられています。このことが、

元は別々の場所に造立されたことの裏付けとなっています。増訂版「日立市の文化財」平成11年、日立市教育委員会。

ではなぜ百観音を日立の地につくったのでしょうか? 江戸時代中期には、現世利益を願った観音信仰が流行し、札所巡礼が盛んになりました。しかし、当時は車や新幹線はありません。また、遠出をするのも大変なお金がかかりました。そこで庶民たちは自分たちの住んでいるところに、「百観音」の札所の本尊を模して像をつくりました。そして、これらをお参りすれば、実際に巡礼したと同様の功德が得られると信じられました。



現在では、インターネットを使って家にいながら世界中の様子を見ることができですが、江戸時代の人も地元にいながら旅行気分を味わえるよう工夫を凝らしていたのですね。

知られざるディープな日立②

執筆者プロフィール

えびさわ **海老沢 貴志** | 株式会社みろっく代表取締役 測量士

◇みろっくの企業理念◇ Human Dream Link -人と夢を繋ぐ-
 キャンプ場「フォレストピア七里の森」代表
 ◇イベント企画制作◇
 「小木津山森フェス」「炭火焼き横丁バルバ小屋」「未来のカタリバ」
 「囁きの星」
 ◇趣味◇
 登山・歴史探検・寺社仏閣巡り・超古代史研究・映像製作YouTube

いきなりですが皆様に質問です。世界文明発祥の地はどこでしょうか？この問いに答えられる人がいるのだろうか？多くの歴史研究家が答えを出せない究極の質問ではないだろうか？私はこの疑問を解くべく活動している一人だ。今回は、この究極の質問をディープな日立の目線で考察する。

文明の道としてよく聞くキーワード、その一つに「絹の道＝シルクロード」がある。

一般的には西から東に文化が広がったと教わり世界史の授業で世界文明はメソポタミア地方で始まったシムメール文明が起源とされている。

今回は、シムメールの詳しい

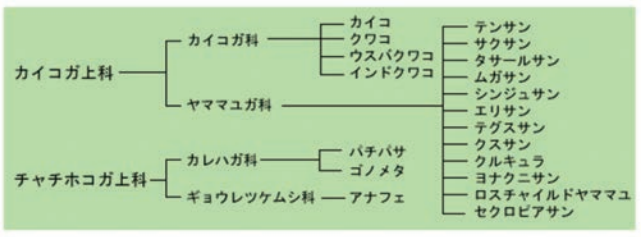


図1 世界に分布する様々な蚕



図2 世界の主な家蚕生産地帯

話は省略してシルクロードに着目して考察する。

シルクは何で出来ていますか？その答えは「天の虫」と書く「蚕＝カイコ」である。蚕の繭から蚕糸が作られ絹となる。

では、蚕はどこに生息しているのか？調べてみると一般財団法人大日本蚕糸会のサイトに左のような分布図があった(図1)。

こちらを見るとシムメール近郊に蚕は生息していない、ではどの地域に生息しているのか？多くは東南アジアに生息していることがわかった。

次に絹を製造する蚕糸の生産地を調べるとヨーロッパ・中東・インド・中国・日本とい

うラインが存在した(図2)。

蚕と蚕糸の分布が見えたところで日立の話に戻る。ユーラシア大陸の東の果ては日本である。さらにいつと日が立つ場所の日立、ここに蚕の伝説を残す神社があった。日立市川尻町の豊浦にある蚕養神社だ。ここには金色姫(こんじきひめ)伝説がある。

インドの姫が桑の木でできた丸木船に乗って豊浦にたどり着き権太夫という漁師に助けられ、その漁師夫婦から大切に世話をされた。しかし姫は病を得て亡くなってしまふ。夫婦は不憫な姫をしのんで清らかな唐ひつを削り姫のなきがらを納め

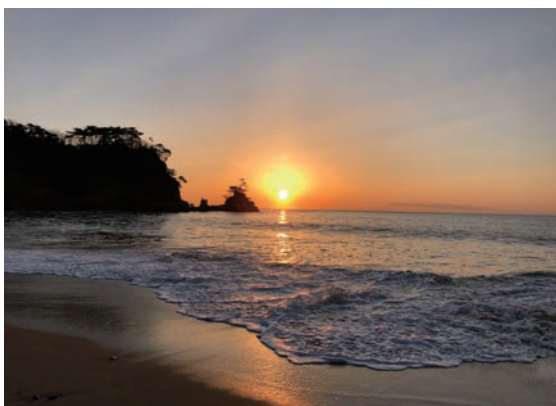
た。その後、姫の亡骸から蚕が生まれ繭が出来て、夢に出てきた姫から蚕養の製法を学んだとされる伝説である。茨城県にはこの他に2か所の神社(豊浦と名のつく地)に金色姫伝説があり、これらは常陸国の三蚕神社と呼ばれていた。

日立と茨城にシルクの原点となる蚕養伝説が残されていた。

シルクロードの東の果てに蚕養のルーツがあった。もしかしたら世界文明の伝承の地はユーラシアで一番初めに日が昇る地＝日立からスタートしたのかも？「信じるか信じないか



川尻の蚕養神社



豊浦の川尻海岸

は・・・のお話かもしれない。日立にはディープな歴史が沢山眠っている。ロマンに夢を膨らませ日立を歴史探検することもおススメだ。



⑥ 国際宇宙ステーションと無重力のお話し

多くの日本人宇宙飛行士も滞在した国際宇宙ステーションですが、その中で暮らす宇宙飛行士は、宇宙ステーションの中で地上と同じように宇宙服を着ることなく生活しています。つまりあの中では、空気も温度も地上と同じような状態になっているということですよ。温度に関して言えばステーション内の機器類や人間が発する熱のため温度が上がりすぎることで環境が悪くなるため、エアコンのようなもので管理し、集めた熱をラジエターで外に放出しています。空気に



に關しては、酸素発生装置を使ったり、補給船が酸素と窒素を運んだりしています。地上の空気には他の物質も含まれていますが、この2種類だけでよいのだそうです。さて、ほかに皆さんが気付くことは、宇宙飛行士がふわふわ浮いていることでしょうか。これを見て宇宙は無重力だと思ってしまうと思います。

しかし、宇宙ステーションの飛んでいる地上から400km上空付近は地上の88%の重力が働いています。では、なぜふわふわ浮いているのか。それは、宇宙ステーションが地球の周りを猛烈なスピードで回っているからです。回転するものには遠心力という力が働きます。子供のころにバケツに水を入れて振り回すと水が落ちないことを経験した方もいらっしゃるでしょう。遠心力は外に向かって飛び出すとするとする力です。つまり、宇宙ステーションにかかる遠心力と重力が釣り合っているために無重量状態になり浮いているのです。地上から400kmという意外に近いと思いませんか。地上での距離で言えば東京と大阪の距離くらいです。この距離を地球に落ちることなく飛び続けるために時速28,000kmものスピードで地球を周回しているのです。新幹線の100倍ほどのスピードですね。

毎日のように見ている月も地球の重力の影響を受けています。月の重力の影響を受けています。それが潮汐力です。地球上では万有引力と

は万有引力といつた方がよいかわかりません。どんなものにも引力があるということですよ。当然私たち一人ひとりにも引力があるのです。しかし、私たち一人の重力(重さ)は地球から比べれば、ほんの僅か(1000分の1)ですから目に見えないような影響はありません。



お詫びと訂正

前号(242号:令和2年12月1日号)の3ページ「日々を詠む」におきまして、掲載に誤りがございましたので、下記の通り訂正させていただきます。

作者の鈴木木平様及び選者の榎村奎子様に多大なるご迷惑をおかけしたことを心よりお詫び申し上げます。(編集部)

≪訂正前≫

百年を生きたとすればあと六年
老いの一日がけふも暮れたり



≪訂正後≫

百歳を生きたとすればあと六年
老いの一日がけふも暮れたり

編集後記

■実家の食卓には一台の地球儀が置かれている。場違いなそれは、祖母が大切にしていたものである。◆祖母は若い時から機会のある度に欧米の観光地を訪ね歩いたそうだが、七十を迎えた頃から体力が衰え、遠方への旅は避けるようになっていた。■身内の結婚式でもらった引き出物のカタログ、祖母が選んだのは地球儀だった。家族はなぜそれと訝しんだが、祖母は地球儀を眺めながらかつて旅した世界各地の思い出を懐かしんでいたのかもしれない。◆昨年の暮れに卒寿を目前にして亡くなった。地球儀は次の持ち主を未だ見つけれない。(A)



表紙の写真



かみね公園や熊野神社、桜塚等々、桜の町にふさわしく、市内の名所では可憐な春の花が咲き乱れる。

鮮やかなピンク色と抜けるような青空。写真からは花の香りが漂ってくるような錯覚を覚える。木々の持つ生命力が感じられる一枚だ。

撮影は鹿島町の鈴木 行信さん。ふるさと日立カレンダー応募作品より拝借いたしました。



発行 公益財団法人日立市民科学文化財団
「ひたちの文化」編集委員会

〒317-0063 日立市若葉町1-5-8 日立市民会館内
TEL 0294-22-6481 FAX 0294-22-6633
HPアドレス <http://www.civic.jp>

※ご意見・ご感想をお寄せください。